

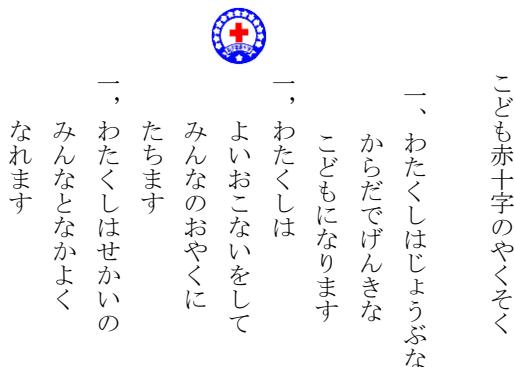
VI 青少年赤十字活動の実際

1 幼稚園・保育園(所)・認定こども園における「こども赤十字活動」

青少年赤十字のねらいは、「人の命と健康を大切にし、互いの個性や違いを尊重し合い、平和を愛することのできる人間形成を目指す」ことにあります。そのねらいは、多くの幼稚園や保育園及び認定こども園が目指している自分たちの経営方針や教育・保育のねらいに合致していると考えられます。したがって、人間形成のもっとも基礎となる幼児期に、青少年赤十字を取り入れることは、幼児なりに「命と健康の大切さ」を知り、「他を意識した活動」につながり、極めて大切な活動になります。

なお、幼稚園や保育園、認定こども園の現場では、青少年赤十字が子どもたちにより親しみやすく、わかりやすいよう『こども赤十字』という呼び方をすることがあります。

また、『青少年赤十字のちかい』を子どもたちに理解しやすいようにやさしく『こども赤十字のやくそく』として言い換えています。



(1) 求められている幼児教育とこども赤十字活動

現在、国では、幼児期に育みたい資質能力や育ってほしい姿として、遊びや生活及び豊かな体験を通じて、感じ、気づき、わかり、できるようになること、それを使い、考え、試し、工夫し、表現すること、心情、意欲、態度が育つ中でいかによりよい生活を営むかという視点で議論されています。そしてそのキーワードとしてアクティブ・ラーニングの視点に立った学びと非認知的能力の育成の重要性が唱えられています。このことは、こども赤十字活動のねらいやその手法に通じるものがあり、相反するものではありません。

(2) どのような活動をすればよいのですか

こども赤十字活動を進めていく中で、よく「どのような活動をすればよいのですか」という質問を受けることがあります。確かに、青少年赤十字では三つの実践目標「⑦健康・安全、①奉仕、②国際理解・親善」を掲げていますが、子ども赤十字は幼児期ですので、掲げたこの三つの実践目標の「基礎や芽生え」を育成することにあります。したがって、これとあれとをしなければならないといった決められた活動はありません。日常の園生活や家庭での生活の中で、園の状況や地域の特性及び家庭状況を考慮し、地域や保護者の理解をいただきながら創意と工夫を凝らして活動を展開していただければよいのです。

(3) 活動にあたって大事にしたいこと

幼児期の特性として、自分中心の考え方と生活になり、周りの人との関係を認識する力

は未熟です。ですから、活動にあたっては、常にまわりから見守っていただいて生活していること、世話ををしていただいて生活していることに気付かせながら、感謝の気持ちを醸成し、活動を展開していくことが大事になります。そのことが、他との関わりや奉仕、国際理解、親善等につながっていく土台になります。

また、幼稚園や保育園、認定こども園は、法人立が多いことも特徴ですから、活動に当たってはその園の設立の精神を大事にし、関連付けることも大事な要素です。

幼児期の活動を展開するに当たっては、保護者の理解を得ながら、保護者と一緒に活動を推進することが効果を上げる要因となります。

(4) 三つの実践目標「①健康・安全、②奉仕、③国際理解・親善」について

①健康・安全 「じょうぶなからだで元気なこどもになること」

自分や家族、友達のいのちと健康を大切にする心を養い、進んで安全に配慮し、健康を増進するための生活習慣を身につけることをねらいにしています。

- ◎手洗い、うがい、体操の励行 ◎虫歯予防運動の推進
- ◎園内（遊び場など）の安全点検 ◎気温の変化、気候にあわせた衣服の調節
- ◎幼年消防での防火の呼びかけ ◎健康安全プログラム（救急法指導）など…

②奉仕 「よいおこないをしてみんなのやくにたつこと」

人間として、集団生活（社会）の中の一人としての社会的な責任を自覚し、まわりの人のために奉仕する心と実行力を養います。

- ◎年長児による年少児の世話 ◎絵本やおもちゃの自発的な整理・整頓
- ◎草花の世話や栽培・観察 ◎動物の飼育・観察
- ◎園内や通園路の清掃・ゴミ拾い・草取り
- ◎病院や老人ホームなどの交流訪問、お年寄りとの交流
- ◎地震や災害にあった人々について知り、できる手助けを行うなど…

③国際理解・親善 「せかいのみんなとなかよくなれること」

広く世界の子どもたちのことを知り、仲良く助け合う精神を養います。

- ◎海外の子どもたちとの国際親善アルバムの交換
- ◎海外の青少年赤十字メンバーなどの交流
- ◎青少年赤十字活動資金（一円玉募金）による海外協力事業への参加など…

(5) こども赤十字の活動事例

●年間活動計画例 盛岡・盛岡幼稚園の例

期	活動	目標	活動のねらいと内容
通年	朝の健康観察	健康	・健康状態を把握し、健康で明るい園生活を送れるようとする
	あいさつ運動	親善	・明るいあいさつができるよう習慣化に努める
	手洗い・うがい	健康	・遊んだ後の手洗い、うがいの習慣化に努める
	避難訓練・防犯訓練	安全	・命の大切を知り、安全に避難する術を身に付ける
	草花の世話	奉仕	・草花の世話を通して思いやりの心を育てる
	誕生会	感謝	・心も体も成長できたことを喜び、周りの人に感謝する気持ちを養う。・お友達の誕生を祝う

一 学 期	こども赤十字登録式 交通安全指導 母の日・父の日 花の日礼拝	健康 奉仕 安全 感謝 親善	・こども赤十字の約束を知り、健康で安全な生活を送り、友達と仲良く暮らそうとする ・交通安全のルールを知り、安全な歩行に努める ・父母に感謝の気持ちを表す ・お世話をいたしている人に感謝の気持ちを育む
二 学 期	お店屋さんごっこ 収穫感謝祭 クリスマス会	奉仕 親善 感謝 親善	・異年齢との交流を通して思いやりの心を育む ・食べ物を味わえることに感謝の気持ちを育む ・クリスマスの意味を知り、献金を通して困っている人がいることに気付く
三 学 期	卒園生に感謝する会 進級を祝う会	感謝 感謝 親善	・やさしくしてくれたことに感謝の気持ちを表す ・一年を振り返り、楽しかったことやがんばったことを認め合い、進級できた喜びを味わう

●登録式

活動のねらい

子ども自身が健康で安全に暮らし、友達と仲良くなり、みんなのお役に立てるよう自覚をうながす。

〈持ち方〉

- ・内容や時間等園独自の考え方でよい。
- ・環境構成として、会場にこども赤十字の旗やこども赤十字の約束、アンリー・デュナンの肖像等を掲示しておくとよい。

《盛岡・盛岡幼稚園の例》

日時 5月、30分程度

年長組だけの参加

- ・こども赤十字活動について(園長)
- ・こども赤十字の約束を唱える
- ・ワッペンの贈呈



《盛岡・太田幼稚園の例》

【こども赤十字活動・盛岡幼稚園】

日時 10月11日 11時から15分位

全園児と教職員の参加

- ・園長の話（こども赤十字について、三つのやくそく）
- ・ワッペンをもらい通園カバンにつける。

〈活動についての園の考え方や配慮〉

- ・JRC活動については、園の教育方針や教育目標、教育課程、指導計画と結び付けて、日常の保育の中で行うようにしている。
- ・登録式を行う時期は、年度当初に行えるとよいが、全園児が話を聞く態度が育ち、集団生活を通して多くの経験を積むことにより、こども赤十字の約束を理解できるよ

うに育ってきた二学期に登録式を行っている。

- ・登録式は、意識づけであり、日々の保育の中で子どもたちの経験と結び付けながら話題にし、継続して取り組みながらねらいが達成できるようにする。

●日常の清掃活動を通して 《矢巾・北高田保育園の例》

活動のねらい

活動や給食後の部屋等の清掃と園内のゴミ集めを行い、奉仕の心を育む。

日時

年間を通じて行う（活動後と給食終了後）

活動の内容

- ・年長児が、活動後の部屋や給食後のランチルームの雑巾がけを保育者と一緒に使う。
- ・年長児のお当番が、一日の終わりに園内の各部屋を周り、ゴミ集めを行う。

活動の様子

活動や給食後に清掃を行うようになってから、画用紙等の切れ端がゴミでないようになり友達同士で分け合って使うようになった。また、給食後には、食べ物を落とすことが少なくなるなど、食べ物を大切にしようとする心が芽生えている姿が見られた。

年長児は、園内の各部屋を周ることで、自分達の活動以外の廊下や玄関などにも目を向けるようになり、積極的に雑巾がけを行う姿が見られた。



【雑巾がけ・北高田保育園】

●郷土芸能「子ども七福神」を通して 《大船渡・末崎保育園の例》

活動のねらい

- ・子ども七福神を通して郷土芸能を継承していくこと。
- ・異年齢や地域交流との触れ合いの大切さを知らせ、大勢の観客の前で発表することで、子どもたちの視野を広げ、自信につなげていく。

活動の内容

- ・日本丸出港セレモニー（6月）



【子ども七福神・末崎保育園】

- ・地域憩いの場の「こいのぼりまつり」（5月）
- ・運動会、敬老会（9月）
- ・文化祭、サンリア祭～地域のショッピングセンター（11月予定）
- ・つばきまつり（1月予定）

●異年齢児との交流 ハロウィンパーティー 《矢巾・北川保育園の例》

活動のねらい

異年齢児での関わりから、小さい子に優しく接する気持ちやおにいさんおねえさんたちという自覚が持てるようになる

活動の内容

2歳児～5歳児クラスの縦割りグループを3グループに分かれてハロウィンパーティーに向けた取り組みを行う（なかよし活動）



グループ毎に看板を製作し、次に色画用紙にお化けなどの絵を描き、カラーポリで作った衣装を貼る。

パーティー当日は、製作した衣装を着て園内で交流する。

●被災した方々との交流 《滝沢・ふじなでしこども園》

活動のねらい

東日本大震災によって滝沢市に避難している方々との交流を通して、ふれあいを楽しみ「思いやりの心」を育む

活動の内容

- 七夕の短冊つくり
- 岩手国体「花いっぱい運動」
- 餅つき会など



【ふれあい交流・ふじなでしこども園】

●高齢者との交流

《盛岡・なでしこども園の例》

七五三の集会を通して、老人ホームの方との交流

活動のねらい

- ◎子ども達に七五三とは何か、どんなことをするか知ってもらう。
- ◎老人ホームの方から昔の遊びや食べ物のお話を聞き、現在との違いを知る。
- ◎施設の方との触れ合いを楽しむ。

活動の内容

- ◎10月なでしこども園で七五三集会を開く。
- ◎集会後、未満児（0～2歳児）と老人ホームの方との交流会をする。
- ◎未満児のお遊戯披露や手作りメダルのプレゼントをし、感謝の気持ちを伝える。



↑【七五三集会・なでしこども園】

《矢巾・ふどうこども園の例》

活動のねらい

老人とのふれあい交流を通して「おもいやりの心」と「いたわりの心」を育てる。

活動内容

- ・デイサービスセンター百万石を利用している方が来園しての老人交流。
- ・歌を通してのふれあい交流（どんぐりころころ・まっかな秋）
- ・玉入れ、プレゼント交換



【おゆうぎの披露・ふどうこども園】

《矢巾・やはば保育園の例》

活動の内容

- ・5月18日(水) よもぎだんご作り・野菜苗植え

子どもたちが摘んできたよもぎを使い、よもぎだんご作りを楽しみ、野菜の苗植えの指導をしていただく。その後、一緒に会食をする。

- ・1月11日(水) みずきだんご作り
みずきだんご作りをした後、ふれあい遊びを楽しみ、会食をする。



【みずきだんご作り・やはば保育園】

●年間を通して高齢者との交流

《矢巾・煙山保育園の例》

活動のねらい

老人の方々とのふれあいを通して、「いたわり」「やさしさ」「おもいやり」の心を育てる。

活動内容

5月12日 花と野菜の苗植え
9月10日 運動会
10月13日 収穫祭
12月10日 お楽しみ会
1月12日 みずき団子つくり
すべて保育園での交流で、主に年中、
年長児です。
写真は、春のサツマイモの苗植え



【サツマイモの苗植え・煙山保育園】

●職場訪問 《矢巾・徳田保育園の例》

活動のねらい

地域の職場を訪問し感謝の気持ちを伝える

活動内容

勤労感謝の日にちなみ、11月の上旬に各クラスそれぞれが、お世話になっている地域の郵便局・交番・消防署・佐々木組（建設業）を訪ね、日ごろの感謝を伝えている。訪問の際には、感謝の気持ちとして、子どもたち手作りのプレゼントを準備し渡している。

写真 冬時期の除雪などでお世話になっている佐々木組に3歳児クラスが訪問し日ごろの感謝を伝えている



【感謝の気持ちを伝える・徳田保育園】

●子ども救急法を学ぶ 《職員研修》

ビデオを見て、子どもに多いけがの手当ての方法を知り、そして、三角巾やハンカチを使って、手当ての仕方を学ぶ。実技を通して乳幼児のためのADEの使い方を学ぶ。

また、親と一緒に企画することも効果がある。日本赤十字社岩手県支部に講師を依頼することができる。

（文責 坂本）



【こども赤十字活動研究会より】